

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公開番号】特開2001-236027(P2001-236027A)

【公開日】平成13年8月31日(2001.8.31)

【出願番号】特願2000-381101(P2000-381101)

【国際特許分類】

G 09 F	9/30	(2006.01)
H 01 L	27/32	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)

【F I】

G 09 F	9/30	3 4 9 C
G 09 F	9/30	3 3 8
G 09 F	9/30	3 6 5 Z
H 05 B	33/14	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月28日(2007.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

薄膜トランジスタと、EL素子とを含む画素を複数有し、

前記EL素子は、前記薄膜トランジスタに電気的に接続された陰極と、陽極と、前記陰極と前記陽極に挟まれたEL層とを有し、

複数の前記画素において隣り合う画素間の前記陰極の隙間と重なるように、前記陽極に接して金属膜を設け、

前記金属膜のシート抵抗は前記陽極のシート抵抗よりも小さいことを特徴とするEL表示装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記金属膜は遮光性を有することを特徴とするEL表示装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2において、

前記金属膜はTi、Al、Ta、W、Cr、Cu、Agのいずれかからなることを特徴とするEL表示装置。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか一において、

前記陽極は透明導電膜でなることを特徴とするEL表示装置。

【請求項5】

請求項4において、

前記透明導電膜は、酸化インジウムと酸化スズとの化合物、酸化インジウムと酸化亜鉛との化合物、酸化スズ、または酸化亜鉛であることを特徴とするEL表示装置。

【請求項6】

請求項1乃至請求項5のいずれか一において、

前記薄膜トランジスタは、活性層が単結晶半導体膜、多結晶半導体膜、微結晶半導体膜

のいずれかを用いて形成されたものであることを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 請求項 6 のいずれか一において、

前記薄膜トランジスタは逆スタガ型であることを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 請求項 7 のいずれか一に記載の E L 表示装置を用いたことを特徴とする電気器具。